Introduction

Message from President & CEO

Strategy

Performance カンパニーからの報告 Foundation 価値創造の源泉となる経営資本

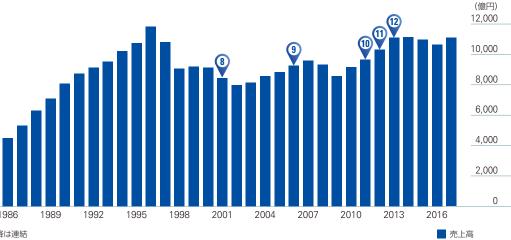
Corporate Governance

Dataなど

積水化学グループの軌跡

積水化学グループの軌跡

積水化学グループは1947年3月、プラスチックの総合事業化を目的として、創業しまし た。その後、わが国初のプラスチック自動射出成形事業を開始するなど、プラスチックスに 関連する技術、製品を中心にそれまでにない事業に積極的に進出し、着実に事業を拡大し てきました。今日の主力製品の一つである自動車向けの中間膜もその原点は1958年であ るなど、長い歴史の中で育成した事業が花開くケースが多いのもグループの特徴です。



1947 1950

1953

1956

1959

1962

1965

1968

※注:1976年以前は単体、1977年以降は連結

1 1947年

プラスチックの総合事業 化を目的とし、積水産業 株式会社として発足



4 1958年

合わせガラス用中間膜 「S-LECフィルム」の製造 を開始



7 1982年

群馬工場を新設、塩化ビ ニルパイプ、ユニット住宅 外壁パネルの製造を開始



10 2011年

米国の医薬品会社 Genzyme Corporation から検査薬事業を買収し 新会社を設立



2 1948年

わが国最初のプラスチッ ク自動射出成形事業を 開始



5 1960年

滋賀栗東丁場開設。塩化 ビニルパイプ、塩化ビニ ル建材製品の製造を開始



8 2001年

カンパニー制を導入



11 2012年

= 菱樹脂株式会社の管 材事業を譲り受ける



3 1952年

塩化ビニル管「エスロン パイプ」の本格製造開始



6 1971年

鉄骨系ユニット住宅[ハイ ム」の販売を開始、住宅事 業に進出



9 2006年

第一化学薬品株式会社 (現:積水メディカル株式 会社、連結子会社)を買



12 2013年

タイにユニット住宅量産 工場を新設

